

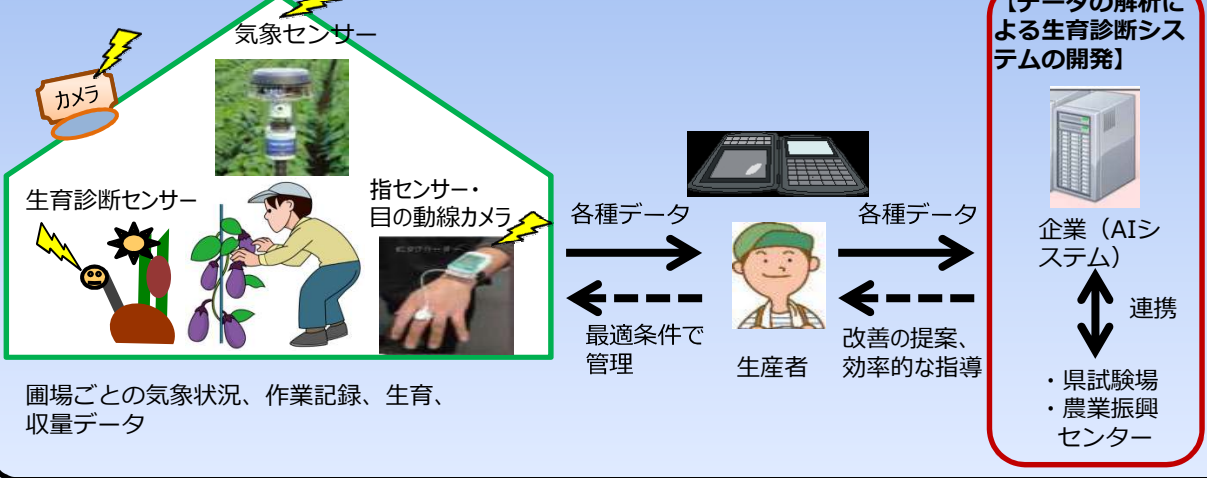
提言 IoT・AI技術を活用した地域内高度生産技術システム開発への支援

課題

- ・産地の維持拡大のため、さらなる生産性の向上が必要
- ・篤農家技術は経験や勘に頼る技術で、後継者等への技術伝承が充分でない
- ・専門家のアドバイスを受ける機会も極めて少なく、IoT・AI技術を活用できる人材は限られている

目標：農業クラスターの形成などに繋がる高収益で、競争力のある産地への転換

【展開のイメージ】



【データの解析による生育診断システムの開発】



IoT・AI技術を活用できる人材の育成

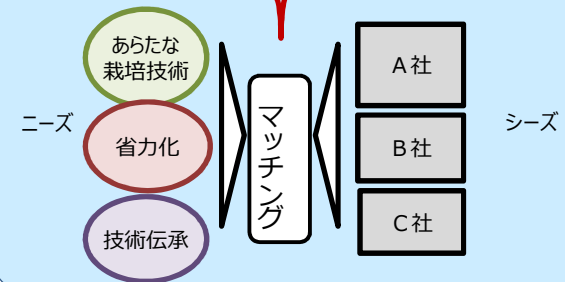
- ・生産現場の様々なニーズとメーカー等が持つ、IoT・AI技術を橋渡しできる人材がいない。



外部専門家がいない



人材の育成
(例：AI・IoT技術研修会)



イラスト：農水省HPより

- 1 収量アップ(生育診断の無人化)
- 2 作業効率アップ・労働負担軽減
- 3 篤農家技術の見える化
- 4 出荷量を予測(1週間後、1月後等)

必要な支援（補助）

- ・メーカーと連携したシステム開発（ハード、ソフト）や、現地での実証試験を支援する事業の創設（委託費、通信料、リース料など）

- ・国による研修会の開催及び旅費、参加費
- ・各県での研修会開催にかかる報償費、会場費
- ・専門家とのマッチングシステム（国によるデータベースの構築）

政策提言

1. IoT・AI技術を活用した地域内高度生産技術システム開発への支援
導入した機器から収集した産地全体のビッグデータを管理・解析して、栽培管理へフィードバックさせるシステムや、出荷予測に活かせる情報管理システムの開発支援
2. IoT・AI技術を活用するための人材の育成
IoT・AI技術を活用できる指導者を育成するための研修制度や、外部の専門家の活用を図る制度の創設